

# 学励コース「医療専攻」たより



新潟県立新潟西高等学校 Vol.2 平成27年7月28日

医療業務に携わる人材(看護師・保健師・医療検査技師・診療放射線技師等)育成のための進学指導を行います。→ 新潟大学医学部保健学科、新潟県立看護大学、新潟医療福祉大学、新潟青陵大学等の進学を目指します。

## ○7月3日 「新潟大学医歯学総合病院」見学

12:10ジャンボタクシーにて学校出発～16:00プログラム終了・現地解散。

1学期期末考査最終日の午後、新潟大学旭町キャンパスへ向かいました。

- 1 全体会：オリエンテーション
- 2 グループ見学①：院内ツアー・「新潟医療人育成センター」見学
- 3 グループ見学②：看護師長さんによる病棟内案内
- 4 グループ見学③：看護師さんとの懇談（新人・ベテラン・フライトナース・集中治療室）
- 5 全体会：質疑応答



真剣な受講風景



「想像していたよりも狭いかな・・・。」  
試乗して、フライトナースの実感が湧きました。

第4期生は、男子4名・女子10名です。まずは、巨大な病院の全体像についてのオリエンテーションから始まりました。

今年は、ドクターヘリに試乗させていただきました。将来はフライトナースとして、勤務することになるかもしれませんね。ヘリポートには柵が無く、高所恐怖症の人は、ドキドキします。



「新潟医療人育成センター」にて。  
看護実習のできるアメリカ製の人体模型です。



新人看護師さんからのお話・質疑応答風景  
「将来の不安を相談させてもらいました。」



エスカレーターは、患者様への配慮から、とてもゆっくりと動きます。

廊下の表示は、ハッキリクッキリ。色もデザインも見やすくなっています。

\* 壁面に設置された、患者さんの心電図やモニターの説明を受けました。きびきびと働く看護師さん達の重要な情報交換の場でもあるナースステーションに入って、ドキドキしました。

\* 普段は入ることが許可されないコントロールセンターで、気象モニターなどの説明を受けました。この部屋では天候をチェックしたり、パイロットに連絡をしたり、外部の要請機関と連絡をします。説明の後、専用エレベーターで屋上のヘリポートに向かいました。フライトナース、ドクターは、いつでも出動OKですが、緊急のあまりどこで何が起きているかを全く知らされないまま、ドクターヘリに搭乗することに驚きました。カートに積んだバッグも、機内も限られたスペースを最大限に生かして収納された機器や薬品などで一杯でした。操縦整備に2人、ドクターとナース各1人の4人1チームですから、瞬時にすべての判断と処置ができる経験と訓練とが必要です。出勤頻度は1日にほぼ1回だそうです。

\* 実感したのは本当にたくさんのスタッフが働いているということです。皆がめざす看護師や臨床検査技師はもちろん薬剤師や栄養士、機能ごとの作業療法やリハビリ、高度化する機器を扱う技士、またクラークもメッセンジャーも清掃の方も、そして退院後を見据えるソーシャルワーカーまで多様な職種の人々がチームとして患者さんを支えているのです。

### \*\*\*生徒の感想\*\*\*

○ 普通の座学や講演とは違い、実際の病院で自分の目と耳でもって学ぶことができた。直に自分の知りたいこと、聞きたいことを気軽に質問することのできる貴重な機会もあり、「看護師は一生勉強だ。」と何度も繰り返されたことが印象的でした。学生時代はもちろんのこと、常に進歩を続ける医療の現場で働いていくために、現役の看護師になっても日々勉強をされているのだなあ、と思いました。いつか自分も新潟大学医歯学総合病院のような、大きな病院で働きたいと思いました。そのために、日々の勉強と、まずは今できることを精一杯やろうと思います。

(男子生徒・看護師希望)

○ 普段、総合病院には行くことがないので、とても緊張しました。病院には色々な職種の人がいてパッと見てユニフォームの色で分かるように区別されていたり、患者さんの目線でバリアフリーが取り入れられていました。実際に目で確認できてよかったです。ドクターヘリを見学させていただきとてもワクワクしました。素早い対応力・判断力・多くの経験が必要なので、フライトナースはやりがいがあると思いました。お話ししてくださった方は男性でしたが「とても楽しい。」と言っていたので、私も将来はこんなふうに胸を張って、仕事が楽しいと言える看護師になりたいと思いました。

(女子生徒・看護師希望)

○ 病院の中を歩いているだけで、あまりにも広くて自分がどこにいるのか全くわからなくなりました。新人看護師さんのお話で、「学生時代の実習では1人の患者さんに付いただけだったが、看護師になると5、6人を担当して平等にしっかりとみなければならぬ。」ということをお聞きして、社会人として働くことの厳しさを再確認しました。

(女子生徒・看護師希望)

\* 初めての病院見学で、新潟県の医療の中核を担う大病院の内側を見せていただく貴重な体験となりました。後進のためにこの見学を実現して下さった板垣看護師さんをはじめ、多くの方に感謝しつつ、14名の医療専攻生は、志を深めることができました。

